

女子大生のプロポーションに対するイメージ 第2報
自尊心測定尺度の標準化データ作成の試みと検討

山陽学園短大 陽由大 学紀 園子茂 短呂 大関裕 〇東子 江学 口院田 玲女中 子短美 就大智 実杉安 短田盛 大洋都 杉子 本東山 智京田 枝家寛 子政大共 文家立 教政女 大知家 短野政 大恵子小 (非)川茂 佐村雄

<目的>ファッションによる自己の表現やファッション感覚は、自尊心と高い相関を示すことが知られている。ファッションの表現においては、現実または理想のプロポーションにどのようなイメージを持っているかに左右されるであろう。そのイメージの持ち方は、自尊心によっても影響を受けていることが予測される。そこでプロポーションを把握するには、自尊心を検討する必要がある、自尊心を測定するには自尊心の測定尺度を標準化する必要がある。第2報では、女子大生の尺度の標準化を試み、検討を行った。

<方法>第1報と同様に、関東地区、中国地区6校における女子大生767名を対象に、質問式自尊心測定検査を実施した。これはジャニスとフィールドにならない、23種の質問項目から成っている。各項目に対しては、5段階評価による自己評価を行った。なお、この結果は因子分析により解析を行った。

<結果>因子分析により、6つの基本的因子(固有値1.0以上、バリマックス回転)を抽出した。それらは次の様に命名した。第1因子:他者からの評価を気にする程度、第2因子:羞恥心の因子、第3因子:劣等感の因子、第4因子:社会的場面における不安、第5因子:自己の能力への自信、第6因子:責任感の因子である。これらの結果は、遠藤*らの結果と対応している因子があり、また、今回の女子大生特有の因子も抽出された。

* 遠藤辰雄:アイデンティティの心理学, ナカニシヤ出版, 74 (1981)